

目覚しい発展ぶり

別所先生困み懇談会

西会
陽
関朝

関西朝陽会は、結成後の発展目覚しく、その後、四回にわたつて朝陽会を開いていたが、昨年(昭和三十一年)十一月末には五十四名が出席して第五回目の会を開催したとの便りが幹事の毛利市郎氏(九回)から最近届いた。

次の文は、この便りから抜粋したものです。

昨年十一月末、第五回目の関西朝陽会を開催いたしましたところ三十四名出席いたし、別所先生をお迎えして誠に和やかな楽しい時を過しました。

別所先生は、お年を召されました



写真は朝師会の懇親会

が非常なお元気で、閉会后、キヤバレーに七回生の長谷川、九回生の守屋君等がお供をし、翌日は、シネラマにご案内いたしました。朝陽会の半月前に、守屋君と相談して、急に名簿を作製しました。

これは、朝陽会の案内状と二階に名簿を送れば出席者も多いたろう

と予想して企画したのです。ところが、資料が少く本部からご送付を受けた名簿から拾い上げて二、三日で印刷したため、返信により訂正したらほとんど全部を書きかえねばならぬようになりました。

四月八日には、春の関西朝陽会を開催致す予定ですので、三月中旬までに新しく名簿を改訂する計画です。